

「保険で良い歯科医療を」 求め厚労省に要請

厚労省、補綴は保険給付が妥当と回答

全国保険医団体連合会 請を行った。

など3団体で開催した 実行委員会からは大沢
「入れ歯が危ない 保険 文雄(歯科技工士)、江原
で良い歯科医療を10・25 雅彦(全日本民主医療機
決起集会」の実行委員会 関連(歯科)、宇佐美宏(保
は11月19日に、集会決議 団連歯科代表)の3人の
の実現を求めて厚労省要 代表ら12人が参加、厚労

省医療課からは宮原勇治

課長補佐が対応した。
要請では、歯科医療崩
壊の解消を目的に歯科医
師、歯科技工士、歯科衛
生士など418人以上が
参加した10・25決起集会
で決議した6項目の実現
を求めた。

大疾患の一つとして重要

な歯周病に対する治療に
ついては、診療実態も踏
まえつつ、中医師で検討
されることになるとの考
えを述べた。

や財政的影響等の観点か

ら、総合的に勘案した上で
検討されるものと述べた。
宇佐美歯科代表は、歯
科診療は窓口負担が増え
るほど受診が大きく抑制
されることを資料を示し
て説明し、受診抑制を解
消するためにも高い窓口

負担の引き下げが必要と
指摘した。

さらに、参加した歯科
医師、歯科技工士、歯科
衛生士は、良質な歯科医
療の提供が困難になって
いる診療現場の改善のた
めに、歯科診療報酬の大
幅な引き上げを求めた。



厚労省担当官(右)に要請する宇佐美保団連
歯科代表(左3人目)ら3代表(左列)。

要請に対して宮原課長
補佐は、「保険で良く噛め
る「入れ歯」ができるよ
うに」との要望に関連し
て、補綴は歯科の最も重
要な治療の一つとして、
これまでも適切に評価し
てきており、引き続き保
険給付の対象とすること
が妥当であるとの考えを
示した。

また、「保険で歯周病の
治療・管理ができるよう
に」について、歯科の2